

大中遺跡の発掘調査説明会開催

2月19日(土)の午後、大中遺跡で、発掘調査の現地説明会が行われました。小雨が降るあいにくの天気でしたが、約200人が、竪穴住居跡や出土品を見学しました。

今回の発掘調査は、県立考古博物館(仮称)の建設予定地を対象として、今年3月下旬までの予定で実施されており、約5千平方メートルの調査区からは、弥生時代後期(約千800年前)の竪穴住居跡8棟をはじめ、多数の遺構・遺物がみつかっています。

中でも2号竪穴住居跡は、火災で倒壊しており、炭化した材や焼土の



▲雨にもかかわらず多数の参加

こんな大きな大根初めてです



▲おでん何人分!?

「畑でとても大きな大根ができました」と北本荘にお住まいの佐藤茂子さんよりお電話をいただきました。「11月末頃から大根がどんどん大きくなってきました。同じ畑でも数本だけが大きくて、ほかは普通のサイズなんです。どこまで大きくなるのかなあと、思っていて、1本だけ抜かずの様子を見ていたのです」と、見せてくださった大根のサイズは葉を除いた部分の長さ71センチ、太さは44センチ、重さ78センチもありました。なかなか抜けなかったそうです。

故間處 和雄氏に從六位旭日双光章

南大中の故間處 和雄氏(63)にこのほど、從六位旭日双光章が授与されました。間處氏は、県地方労働

播磨町スポーツ賞の表彰式が行われました

町のスポーツ振興に功績のあった方や、権威ある大会において優秀な成績を収めた選手および指導者の表彰式が2月19日(土)、播磨町健康いきいきセンターで行われました。

今年度の受賞者は次の方々です。

氏名(敬称略)	所属	種目
スポーツ勲功賞		
荒内 和子	(播磨南中学校)	陸上競技
スポーツ優秀選手賞 特別賞		
中村 仁	(播磨南中学校)	陸上競技
スポーツ優秀選手賞 優秀賞		
松田 浩平	(播磨南中学校)	陸上競技
安立 理香	(播磨南中学校)	陸上競技
丸山 結花	(播磨南中学校)	陸上競技
大西 菜津美	(播磨南中学校)	陸上競技
内藤 みなみ	(大國国際中学校)	バレーボール
中作 美沙	(神戸工業高等学校)	弓道
森田 竜司	(播磨南高等学校)	陸上競技
野村 隼	(播磨南高等学校)	陸上競技
佐伯 和子	(播磨南高等学校)	陸上競技
松田 幸子	(播磨南高等学校)	陸上競技
上田 雄一朗	(加古川東高等学校)	陸上競技
三浦 将吾	(日生第三高等学校)	陸上競技
大川 道長	(極真会館森上道場)	空手
金城 真弓	(永上高等学校)	バレーボール
草部 純弥子	(愛徳学園中学校)	新体操
松原 優作	(播磨中学校)	車椅子サッカー
播磨ジュニア	(東播磨ジュニアバレーボール協会)	バレーボール
兵庫播磨リトルリーグ	(全日本リトルリーグ野球協会)	硬式野球



▲皆さま、おめでとうございます

スポーツ優秀選手賞 奨励賞	スポーツ功労賞
浜脇 れみ (播磨南中学校)	塩沢 岩光 (播磨南高等学校)
播磨南中学校・男子	藤原 剛 (播磨南高等学校)
播磨南中学校・女子	
池内 早輝 (播磨南中学校)	
浅原 重典 (加古川西高等学校)	
大西 健太 (日生第三高等学校)	
岡本 美穂 (高砂南高等学校)	
内藤 愛子 (滝川第二高等学校)	
池田 有紀 (滝川第二高等学校)	
田淵 洋子 (播磨南高等学校)	
坂本 千代子 (播磨南高等学校)	
藤谷 健司 (播磨南高等学校)	
播磨南高等学校・男子	
播磨南高等学校・女子	
	卓球
	バドミントン
	ペタンク
	ゴルフ協会

ゆめづくり塾活動報告 バリアフリー塾 「尊厳死・ホスピスを考える」講演会を開催

「バリア」のないまちづくりについて研究、活動をしているバリアフリー塾が、2月6日(日)、中央公民館にて講演会を開催しました。約150人の聴衆を前に、講師の兵庫県八尾市センター中央病院元副院長嶋瀧恭也氏が、生と死、自然死、安楽死、尊厳死、末期医療と延命治療、ホスピスについて医師の立場から熱心に語りました。

「尊厳死とは、人間の尊厳をもって自らの意思で生命装置を外すことです。ホスピスについては、日本ではまだ少ないが、欧米では、死に場所の約20割を占めている。遅かれ早かれ人間は死ぬのだが、その間、人間らしい生き方、幸せを求める場所にならなければならない」と話されました。



▲関心を持つ人が増えています

ゆめづくり塾活動報告 キャストはりま塾 里山の保全活動を視察

キャストはりま塾は、水辺を生かしたまちづくりと、誰もが安心して安全に移動できるまちづくり、そして花で彩るまちづくりを目指して活動しています。

3月2日(水)、一般参加者も募集して、河辺いきもの森(滋賀県)を視察。播磨町の川やため池の保全や利活用法の参考にするため、この森で里山の保全活動をされている武藤氏と丸橋氏にお話を聞きました。

福原塾長は、「志のあるリーダーが



▲手作りの炭焼窯です

求心力とあって「この指とまれ」で人の輪が大きく広がっていき、活動の経緯を分かりやすく教えていただきました。里山を里池におきかえて、播磨町のまちづくりに応用できれば」と話されました。

「花といっしょに暮らす素敵な毎日」

② 「グループやすらぎ」の高見とも子さんにお話をうかがいました。

Q. 「グループやすらぎ」とは?

A. 自然が大好きなメンバーで、山から採ってきた蔓や樹木を使ってオブジェやリースを作るグループです。健康福祉フェアなど町の各種行事でも販売しています。

Q. であい公園内の「コミュニティ花壇」で素敵な花壇を作られていますか?

A. 母親の影響もあって、小さいころから生け花、畑での菊作り、自宅でのガーデニングなどいろいろな形で花にかかわり続けてきました。花が大好きで、一日中、花の世話をしているも飽きることはありません。去年退職を機に、もっと花作りの勉強をしたいと思い、6月下旬に「コミュニティ花壇」の申し込

広げよう 花と緑の輪



問い合わせ 都市計画課 ☎0794(35)2366

Q. アドバイスするとすれば?

A. 花が好きな方ならば、マニュアルにこだわらず、試行錯誤しながら花作りを楽しんでもらいたいと思います。私も、いろんな新しいことにチャレンジし続けたいと思います。

Q. 失敗談は?

A. 経費節減のため、種からの花苗作りにも挑戦しましたが、発芽率が悪かったり、色が悪かったりと、残念ながら花壇にはほとんど利用できませんでした。

みをしました。

Q. 昨年は2度の台風もあり、かなり苦労されたのでは?

A. 自宅からであい公園が離れているため、特に夏の毎日の水遣りが大変でしたが、友人、家族の協力もあって続けられました。日々、花壇の様子が気になりますし、土作り、花苗の植え付けなど夜遅くまでかかったこともありました。でも、自分で花壇のデザインをいろいろ考えたうえで、それにふさわしい花を探し出す楽しさがあり、花壇を見た皆さんの方に「きれいですね」と声をかけてもらえる喜びが大きかったです。